



2009年8月26日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 野木森 雅郁
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東 証 ・ 大 証 (各 第 一 部)
決 算 期 3月
問 合 せ 先 広報部長 河村 真
Tel : (0 3) 3 2 4 4 - 3 2 0 1

ファイザー株式会社
アステラス製薬株式会社

**脳・心血管疾患の二大危険因子を同時に治療できる世界初の配合錠
ファイザー株式会社とアステラス製薬が「カデュエット®配合錠」をコ・プロモーション**

ファイザー株式会社（本社：東京、社長：岩崎 博充）とアステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：野木森 雅郁、以下「アステラス製薬」）は、持続性 Ca 拮抗薬/HMG-CoA 還元酵素阻害剤「カデュエット®配合錠」（一般名：アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物配合剤）に関し、日本国内におけるコ・プロモーション（共同販促）契約を締結しましたので、お知らせします。

本契約に基づき、ファイザー株式会社はカデュエット配合錠の製造と販売を行い、アステラス製薬と共にプロモーション活動を実施します。売上は、ファイザー株式会社に計上され、アステラス製薬は両社合意した方法により対価を受領します。なお、本契約の有効期間は、2016年7月までとなります。

カデュエット配合錠は、ファイザー株式会社が販売する高血圧症・狭心症治療薬「ノルバスク®錠」（一般名：アムロジピンベシル酸塩）とファイザー株式会社とアステラス製薬で共同販促する高コレステロール血症治療剤「リピートル®錠」（一般名：アトルバスタチンカルシウム水和物）の有効成分を配合した経口治療剤です。医療現場において最も汎用されている高血圧症・狭心症治療薬と高コレステロール血症治療剤を配合して、1剤で双方の治療を可能にした薬剤であり、服薬アドヒアランス（治療継続）の向上が期待できます。現在、70以上の国と地域で承認されていますが、日本ではファイザー株式会社が2009年7月7日に製造販売承認を取得しました。

ファイザー株式会社とアステラス製薬は、日本においてリピートル錠の販売・販促を通じた協働関係を築いています。こうした協働関係をベースに両社は今後、カデュエット配合錠の製品価値の最大化を図るとともに、高血圧症・狭心症ならびに高コレステロール血症・家族性高コレステロール血症の治療に一層の貢献ができるものと期待しています。

なお、カデュエット配合錠は、薬価収載後に発売する予定です。

以 上

カデュエット®配合錠の概要

【製品名】	カデュエット®配合錠 (Caduet® Combination Tablets) 1 番、2 番、3 番、4 番
【一般名】	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物配合剤
【承認取得日】	2009 年 7 月 7 日
【薬価収載】	未収載 (8 月 26 日現在)
【製造販売】	ファイザー株式会社
【販売提携】	アステラス製薬株式会社
【効能・効果】	

本剤 (アムロジピン・アトルバスタチン配合剤) は、アムロジピン及びアトルバスタチンによる治療が適切である以下の患者に使用する。

高血圧症又は狭心症と、高コレステロール血症又は家族性高コレステロール血症を併発している患者

なお、アムロジピンとアトルバスタチンの効能・効果は以下のとおりである。

アムロジピン

・高血圧症 ・狭心症

アトルバスタチン

・高コレステロール血症 ・家族性高コレステロール血症

【用法・用量】

本剤 (アムロジピン・アトルバスタチン配合剤) は、1 日 1 回経口投与する。

なお、以下のアムロジピンとアトルバスタチンの用法・用量に基づき、患者毎に用量を決めること。

アムロジピン

・高血圧症：通常、成人にはアムロジピンとして 2.5~5mg を 1 日 1 回経口投与する。

なお、症状に応じ適宜増減するが、効果不十分な場合には 1 日 1 回 10mg まで増量することができる。

・狭心症：通常、成人にはアムロジピンとして 5mg を 1 日 1 回経口投与する。

なお、症状に応じ適宜増減する。

アトルバスタチン

・高コレステロール血症：通常成人には、アトルバスタチンとして 10mg を 1 日 1 回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症の場合は 1 日 20mg まで増量できる。

・家族性高コレステロール血症：通常成人には、アトルバスタチンとして 10mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症の場合は 1 日 40mg まで増量できる。

【特性】

1) 世界初の持続性 Ca 拮抗薬/HMG-CoA 還元酵素阻害剤の配合錠

世界初の異なる適応症に対する薬剤の配合錠です。

2) 高血圧と高コレステロール血症に優れた臨床効果。

脳・心血管疾患のリスクファクターである高血圧症と高コレステロール血症の両方に効果を発揮します。

3) 1 日 1 回、1 錠投与が可能

1 日 1 回、1 錠投与と簡便であり、アドヒアランスの向上が期待できます。

4) 副作用発現率

高血圧症と抗コレステロール血症を合併した患者を対象とした臨床試験において、165 例中 22 例 (13.3%) に副作用が認められました。副作用の主なものは、動悸 (1.2%)、肝機能障害 (1.2%)、頭痛 (1.2%)、眩暈・ふらつき (1.2%) でした。

【剤型】

カデュエット配合錠 1 番	(アムロジピン 2.5mg /アトルバスタチン 5mg)
カデュエット配合錠 2 番	(アムロジピン 2.5mg /アトルバスタチン 10mg)
カデュエット配合錠 3 番	(アムロジピン 5mg /アトルバスタチン 5mg)
カデュエット配合錠 4 番	(アムロジピン 5mg /アトルバスタチン 10mg)